

伊勢社 横浜市青葉区新石川 2-11-7

伊勢社は石川の中村と下谷の二つの集落の谷戸宮である。江戸時代後期の地誌である「新編武蔵風土記稿」には「伊勢社、除地一段、村の東にあり、南に向ふ」とある。江戸時代初期の創建と言われるが・・・伝承では、この伊勢社は昔、中村に源内様という方がおられ、其の方の所有であったという。棟札が五枚遺されている。一番最古のものは文字が消失している。年代順に示すと宝暦十二年（一七六二）天明八年（一七八八）天保十念（一八三九）そして新築される前の社と考えられる、明治十八年（一八八五）である。宝暦十二年には「天下和順 日月清明 奉造立太神宮小社一宇所願成就 修薬師別當満願寺の惣氏子中石川大工當内仁兵衛」とある。（境内掲示より）

御祭神は大日靈尊(おおひるめのみこと)で、境内には秋葉神社、三峰神社も祀られている。また、鳥居から50メートルほど坂を下ったところに『石川不動尊』が安置されている。



鳥居と参道



大きな石をくり貫いた手水舎



伊勢社本殿



御祭神は拝めなかった



伊勢社本殿隣の秋葉神社



三峰神社



石川不動尊



不動尊の中を撮影